

国立大学法人 東京大学 御中

公益財団法人 原子力安全研究協会

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。

事業名	原子力施設の廃止措置を統括するグローバル人材の育成
実施機関	東京大学
実施期間	令和3年度～令和5年度

【評価結果】

A	計画以上の優れた成果があげられた
---	------------------

- ※) S : 極めて優れた成果があげられた
A : 計画以上の優れた成果があげられた
B : ほぼ計画通りの成果があげられた
C : 計画通りの成果があげられなかった

【評価委員会所見】

<推奨意見、評価理由>

- 開始当初はコロナ禍の影響を受けたが、オンラインを併用して適切に実施するとともに、期間の後半では、国内視察及び海外視察を実施し、大きな成果を上げることができている。特に海外研修において現地ステークホルダーグループとの面談を設けたことは、海外の社会的側面の取り組みの良好事例を実感できる点で、高く評価できる。
- 参加した学生数は必ずしも多くはないが、社会科学系の学生を含む、多様な大学や分野、課程等からの参加となっており、また受講学生のほとんどが原子力関係機関へ就職しているということであり、大きな成果になっているものと考えられる。
- 講義や見学においては、事前・事後学習を課すとともに、最終的にその成果が原子力学会で参加学生から報告されており、有益な成果があげられたものと考えられる。
- 経営学を専攻する学生が参加する事により、経営の視点を取り込んだ議論がグループ実習でなされたことは工学系の学生の視野を拡げる効果があると考えられ、高く評価できる。今後の活動においても様々な分野の学生の参加を期待する。
- 原子力施設の廃止措置に関して、我が国が不得手なマネジメントの観点から要点をまとめ、それに基づき学生の教育を行ったことは評価できる。特に、社会とのかかわりを重視する視点は原子力関係の仕事において重要と思われる。

<今後への参考意見>

- 講義・研修資料等のアーカイブ化や適切な形で幅広い利用を促す仕組み等を構築することが望まれる。
- 海外研修における当該国の規制側目線の考え方の紹介も取り込んでいただくとよいのではないか。
- それぞれの学生が海外研修で学んだことを含め、原子力関係に少しでも寄与することを期待する。
- 学会にて学生自らが成果や体験を発表する機会を持てたことは学生にとっても良い経験になり、効果的な成果公開の手法であると言える。学会発表のみならず、論文や解説記事などの形でまとめられることも期待する。
- 事業の実施に当たっては、その継続性が重要となるが、将来に向けて、現課題終了後も定常的に実施するための仕組み(予算や実施体制を含む)をどのように作るのかも、重要検討課題であるように思われる。

以上